

社内フォークリフト運転競技会

五月十九日(土)、本社構内において第二回社内フォークリフト運転競技会が開催されました。

この競技会は、当社リフトマンの技能および安全意識の向上を目的として、陸防災より専門の試験官2名を招き本社構内に規定のコースを設定して行う本格的なものです。

今回は社内各部署から十名が参加、確実な確認動作やスムーズなリフト操作の腕前を競いました。

競技終了後はリフト点検についての講習会が行われ、その後成績上位3名が表彰されました。

成績表 (注: 点数は1000点満点)

順位	所属部署	氏名	点数
1	工場部	石川 雄三	820
2	関東支店	酒入 芳輝	815
3	倉庫部	宗次 武則	810
4	倉庫部	木下 誠	800
5	工場部	井川 淳	780
6	倉庫部	秋山 裕也	760
7	倉庫部	守谷 勇樹	730
8	工場部	川野 敬史	580
9	工場部	森高真之介	570
10	関西支店	岡 秀則	450
平均点			711.5



競技風景



開会式



表彰



点検講習会



競技風景

優勝者インタビュー



工場二課 石川 雄三

前回大会での優勝者が所属部署の後輩であったこともあり、参加を指名された時から成績上位を狙わないといけない気持ちが強くありました。本番の二週間位前から職場に模擬コースを設定していただき、講師役の上司の話をよく聞き、教わったことを確実にこなす練習を集中して行いました。

大会での私の順番は最後から二番目だったため、他の出場者の実技を見てしまうとその影響を受けてしまうとと思い、敢えて見ないようにしていました。その上で練習内容を確実に実践する(足りないことも余分なこともないように)ことを心がけて臨みました。

優勝できたことは大変うれいですが、当然一人の力ではなく、多忙にもかかわらず練習コース設定や指導をいただいた上司他の方々のおかげです。本当に感謝いたします。

この競技会は、安全確認の大会だったと考え、特に指差呼称は普段声を出して確実にできているかと反省し、リフト操作技術の向上にも努めるともに大会参加で得たものを今後に役立てていきたいと思っています。

社内フォークリフト運転競技会

五月二十日(土)、本社構内において社内フォークリフト運転競技会が開催されました。

この競技は、リフトマンの技能および安全意識の向上を目的として、陸災防より専門の試験官2名を招き本社構内に規定のコースを設定して行う本格的なもので、社内各部署から十二名が参加。確実な確認動作やスムーズなリフト操作の腕前を競いました。

競技終了後はリフト点検のポイントについて講習会が行われ、その後に成績上位3名が表彰されました。

成績表 (注:点数は1000点満点)

順位	所属部署	氏名	点数
1	工場部	井上 翼	900
2	関東支店	浅野一樹	890
3	工場部	高原 文	830
4	倉庫部	加地康太	810
5	工場部	川村 崇	810
6	倉庫部	高津栄嗣	760
7	工場部	長田信二	760
8	倉庫部	桑 秀敏	750
9	倉庫部	庄司顕太	720
10	工場部	南 浩次	710
11	関西支店	吉村隆一	670
12	倉庫部	藤本宏樹	650
平均点			771.7



優勝者インタビュー



工場二課 井上 翼

参加を指名された時は特に意識しませんが、本番の1週間位前から職場に模擬コース

を設定し、毎日一時間程度の練習が始まることから緊張感が増してきました。普段使用しているリフトと本番で使用するリフトの旋回半径の違いを特に気を付けて練習し、本番当日は緊張こそしていましたが、とにかく落ち着いて一つ一つ確実な動作をすることを心がけました。

まさか自分が一位になるとは思わなかったのですが、当日は実感がありませんでしたが、翌日以降に職場やドライバーの方々からお褒めの言葉をいただき、徐々に実感が湧いてきました。多忙にもかかわらず練習コース設定や指導をしていただいた上司・先輩方にお礼申し上げます。

以前は声出しや指差呼称などあまりできていませんでしたが、競技会参加後は、声も出し、確認動作を確実にできるようになつたと思います。今後も安全確認を確実に言い、技術の向上に努めたいと思います。